



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月11日

上場会社名 油研工業株式会社
コード番号 6393 URL <https://www.yuken.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永久 秀治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 萩野 嘉夫

TEL 0467-77-2111

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	14,042	35.9	786	898.0	858	495.9	556	245.3
2021年3月期第2四半期	10,336	21.4	78	87.4	144	68.7	161	35.9

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,335百万円 (1,303.8%) 2021年3月期第2四半期 95百万円 (150.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	135.76	
2021年3月期第2四半期	39.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	38,167	19,893	47.8
2021年3月期	36,065	18,902	48.1

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 18,249百万円 2021年3月期 17,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		80.00	80.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	25.5	1,550	151.4	1,550	73.4	930	42.8	226.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) - 、 除外 社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、【添付資料】8ページ(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無
詳細は、【添付資料】8ページ(会計方針の変更)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	4,510,676 株	2021年3月期	4,510,676 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	408,279 株	2021年3月期	407,965 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	4,102,622 株	2021年3月期2Q	4,103,004 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	P. 5
四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9
(収益認識関係)	P. 9
3. 補足情報	P. 10
海外売上高	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が実施されたものの、9月末には全ての都道府県で解除され、ワクチン接種の進展等により経済活動正常化の期待感が高まりつつあります。世界経済においては、東南アジアでの新型コロナウイルス感染症拡大等、新型コロナウイルス感染症の世界的収束の目途は見えないものの、米国、中国等では経済活動の回復を加速させており、先進国を中心に緩やかな回復が続きました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の実績といたしましては、売上高は140億4千2百万円（前年同四半期比35.9%増）、営業利益は7億8千6百万円（前年同四半期比898.0%増）、経常利益は8億5千8百万円（前年同四半期比495.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億5千6百万円（前年同四半期比245.3%増）となりました。

当社グループでは、中長期の持続的な成長を目指す取組みとして、3ヵ年計画の中期経営計画「3G Action2021～Challenge the Next Stage～」を2019年度からスタートさせ、この期間を次の10年に向けた更なる飛躍のための成長フェーズとして位置づけ、海外展開の着実な推進とグループ総合力を活かした生産力の強化に取り組んでおります。具体的には、①今後、旺盛な油圧需要の捕捉が期待できるインド、北米、東南アジア地域での拡販体制の確立と戦略製品の開発、②日本およびインド、台湾、中国の海外生産拠点の連携強化によるグローバルな最適生産体制の構築などを通じて、当社グループとしての競争力を一層強化し、環境変化の中でも利益成長できる油圧総合メーカーグループを目指してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から21億1百万円増加し、381億6千7百万円となりました。増加の主なものは、流動資産では、現金及び預金の増加2億7千1百万円、受取手形及び売掛金の増加10億5千4百万円、棚卸資産の増加5億7千6百万円等、固定資産では、有形固定資産の増加1億3千3百万円、投資有価証券の増加9千8百万円等であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて11億1千万円増加し、182億7千3百万円となりました。主な増減は、流動負債では、支払手形及び買掛金の増加12億9千7百万円、短期借入金の増加1億4千7百万円、賞与引当金の減少1億4千4百万円等、固定負債では、長期借入金の減少3億3千2百万円等であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて9億9千1百万円増加し、198億9千3百万円となりました。増加の主なものは、利益剰余金の増加2億2千8百万円、その他有価証券評価差額金の増加7千6百万円、為替換算調整勘定の増加5億5千4百万円等であります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.3ポイント減少し、47.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、投資活動、財務活動によるキャッシュ・フローにより減少したものの、営業活動によるキャッシュ・フローにより増加したため、54億9千3百万円（前連結会計年度末比5.2%増）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローの内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益8億7千4百万円、売上債権の増加7億3千9百万円、棚卸資産の増加4億1千1百万円、仕入債務の増加10億8千9百万円等であります。その結果、営業活動によるキャッシュ・フローは8億6千4百万円の収入となり、前年同四半期に比べ1億9千6百万円収入が減少しております。

投資活動によるキャッシュ・フローの内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出4億9千9百万円、有形固定資産の売却による収入3億1千2百万円等であります。その結果、投資活動によるキャッシュ・フローは1億8千3百万円の支出となり、前年同四半期に比べ3億2千9百万円支出が減少しております。

財務活動によるキャッシュ・フローの内訳の主なものは、短期借入金の純増額1億3千4百万円、長期借入れによる収入1億2千7百万円、長期借入金の返済による支出4億6千3百万円、配当金の支払いによる支出3億2千7百万円等であります。その結果、財務活動によるキャッシュ・フローは5億8千1百万円の支出となり、前年同四半期に比べ5億5千1百万円支出が増加しております。

当社は、取引銀行4行とシンジケーション方式のコミットメントライン契約を締結しており、コミットメントの総額は40億円、当第2四半期連結会計期間末のコミットメントラインの借入未実行残高は33億2千万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期連結業績予想につきましては、2021年11月8日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

なお、業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。また、今後、業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,362,351	5,633,956
受取手形及び売掛金	9,645,781	10,700,145
商品及び製品	2,847,695	3,011,776
仕掛品	1,053,678	1,065,908
原材料及び貯蔵品	2,692,800	3,092,530
その他	1,237,675	1,246,833
貸倒引当金	△68,196	△62,992
流動資産合計	22,771,787	24,688,158
固定資産		
有形固定資産	7,628,230	7,761,286
無形固定資産	309,013	275,158
投資その他の資産		
投資有価証券	3,061,417	3,160,409
その他	2,300,358	2,287,336
貸倒引当金	△5,330	△5,330
投資その他の資産合計	5,356,445	5,442,415
固定資産合計	13,293,689	13,478,860
資産合計	36,065,476	38,167,018
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,295,475	5,593,210
短期借入金	1,989,526	2,136,653
1年内返済予定の長期借入金	1,013,863	1,008,305
未払法人税等	177,444	222,009
賞与引当金	334,338	190,003
その他	2,334,821	2,456,496
流動負債合計	10,145,469	11,606,677
固定負債		
長期借入金	2,966,740	2,633,784
退職給付に係る負債	3,946,008	3,935,378
資産除去債務	4,596	4,616
その他	100,428	93,081
固定負債合計	7,017,773	6,666,861
負債合計	17,163,242	18,273,538

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,109,101	4,109,101
資本剰余金	3,881,105	3,911,298
利益剰余金	10,176,741	10,405,497
自己株式	△1,039,011	△1,039,555
株主資本合計	17,127,937	17,386,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	680,813	756,956
為替換算調整勘定	△225,651	329,085
退職給付に係る調整累計額	△248,592	△222,731
その他の包括利益累計額合計	206,568	863,310
非支配株主持分	1,567,727	1,643,827
純資産合計	18,902,233	19,893,479
負債純資産合計	36,065,476	38,167,018

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	10,336,072	14,042,310
売上原価	7,901,208	10,682,776
売上総利益	2,434,863	3,359,534
販売費及び一般管理費	2,356,036	2,572,846
営業利益	78,827	786,687
営業外収益		
受取利息	15,828	21,286
受取配当金	24,177	25,086
持分法による投資利益	10,175	12,173
為替差益	-	14,286
補助金収入	41,581	6,970
雇用調整助成金	78,397	28,786
その他	51,690	63,787
営業外収益合計	221,851	172,377
営業外費用		
支払利息	86,208	72,538
為替差損	49,100	-
その他	21,270	27,798
営業外費用合計	156,578	100,337
経常利益	144,100	858,727
特別利益		
固定資産売却益	136	1,587
ゴルフ会員権売却益	-	14,057
特別利益合計	136	15,644
税金等調整前四半期純利益	144,237	874,371
法人税等	25,882	233,122
四半期純利益	118,354	641,249
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△42,924	84,276
親会社株主に帰属する四半期純利益	161,278	556,972

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	118,354	641,249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89,880	76,143
為替換算調整勘定	△139,362	592,532
退職給付に係る調整額	26,284	25,860
その他の包括利益合計	△23,197	694,536
四半期包括利益	95,156	1,335,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	144,421	1,213,714
非支配株主に係る四半期包括利益	△49,264	122,071

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	144,237	874,371
減価償却費	515,539	525,253
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,009	△5,654
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	62,521	26,838
受取利息及び受取配当金	△40,005	△46,373
支払利息	86,208	72,538
為替差損益 (△は益)	26,702	△10,706
売上債権の増減額 (△は増加)	1,453,007	△739,411
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△158,967	△411,940
仕入債務の増減額 (△は減少)	△539,203	1,089,911
その他	△409,315	△301,549
小計	1,134,714	1,073,278
利息及び配当金の受取額	47,685	51,381
利息の支払額	△79,152	△75,502
法人税等の支払額	△41,913	△184,728
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,061,334	864,429
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△140,842	△140,842
定期預金の払戻による収入	140,842	140,842
有形固定資産の取得による支出	△465,256	△499,212
有形固定資産の売却による収入	489	312,201
投資有価証券の取得による支出	△99,556	△564
投資有価証券の売却による収入	100,000	1,000
貸付けによる支出	△4,358	△640
貸付金の回収による収入	2,131	2,083
その他	△46,730	1,256
投資活動によるキャッシュ・フロー	△513,281	△183,874
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△631,822	134,666
長期借入れによる収入	1,400,000	127,096
長期借入金の返済による支出	△410,902	△463,690
自己株式の取得による支出	△363	△549
配当金の支払額	△326,096	△327,488
非支配株主への配当金の支払額	△24,748	△15,756
その他	△36,713	△35,969
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,647	△581,691
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40,318	172,741
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	477,087	271,604
現金及び現金同等物の期首残高	3,982,792	5,221,509
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,459,879	5,493,114

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、有償支給取引において、従来は有償支給した原材料等については棚卸資産の消滅を認識しておりましたが、当該取引において買い戻す義務を負っていることから、有償支給した原材料等について棚卸資産の消滅を認識しないことといたしました。なお、収益認識適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、製品の販売において、出荷時から当該製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、従前の会計処理と比較して、当第2四半期連結会計期間の原材料及び貯蔵品が56,526千円増加し、流動資産のその他が同額減少しております。当第2四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に変更はありません。また、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染拡大の影響については、今後の広がり方や収束時期等の見通しを行うことは困難ですが、当社グループでは、感染防止対策を行いつつ、ほぼ通常稼働しており、事業活動への影響は限定的であり、当社グループの事業に著しい影響を与えるものではないと仮定しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	ヨーロッパ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,387,579	4,827,923	120,570	10,336,072	—	10,336,072
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,258,882	409,759	—	1,668,642	△1,668,642	—
計	6,646,462	5,237,682	120,570	12,004,714	△1,668,642	10,336,072
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△98,825	56,869	468	△41,487	120,315	78,827

(注) 1 調整額の主なものは、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	ヨーロッパ	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	6,047,449	7,771,860	223,000	14,042,310	—	14,042,310
外部顧客への売上高	6,047,449	7,771,860	223,000	14,042,310	—	14,042,310
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,740,213	583,148	—	2,323,362	△2,323,362	—
計	7,787,663	8,355,008	223,000	16,365,673	△2,323,362	14,042,310
セグメント利益	151,391	622,941	6,670	781,003	5,684	786,687

(注) 1 調整額の主なものは、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、(セグメント情報等)に記載のとおりであります。

3. 補足情報

海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

	アジア	北米	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	5,012,767	166,941	159,328	51,595	5,390,632
II 連結売上高(千円)					10,336,072
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	48.5	1.6	1.5	0.5	52.2

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……中国、台湾、インド、韓国、タイ

(2) 北米……アメリカ

(3) ヨーロッパ……イギリス

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

	アジア	北米	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	8,294,441	151,412	228,811	69,474	8,744,140
II 連結売上高(千円)					14,042,310
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	59.1	1.1	1.6	0.5	62.3

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……中国、台湾、インド、韓国、タイ

(2) 北米……アメリカ

(3) ヨーロッパ……イギリス